



論文誌ジャーナル掲載論文リスト
Vol.52 No.6 (June 2011)

【一般論文】

- ファイルアクセススレーブットを改善する POSIX ACL 一高機能 ACL 併用方式 中村隆喜 他
- 屋外行動支援のための GPS 搭載携帯電話を用いた移動経路の逐次的精練手法 山田直治 他
- 加速度センサの定常性判定による動作認識手法 村尾和哉 他
- 交差点鳥瞰映像の協調撮影と共有を目的とした車車間通信プロトコル* 小谷和也 他
- 秘匿回路計算の高効率化と機密情報の安全な活用について 千田浩司 他

- TCP フィンガープリントによる悪意のある通信の分析* 木佐森幸太 他

- 組織の IT セキュリティ対策のゲーム理論による分析—セキュリティ推進部門と従業員間の指示と実施のゲーム— 杉浦 昌 他

- 検索連動型広告の自動生成と集客効果の測定 --- 飲食店ドメインを例題に 藤田 篤 他

*: 推薦論文 Recommended Paper

†: テクニカルノート Technical Note



研究成果を
発表するなら
どこがいいかな?

この分野で
未来の情報社会を
リードできそうだ。

よし!
情報処理学会に入会して
論文を投稿しよう!

詳しくは <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

会員募集!!

IP 申込/照会先 一般社団法人 情報処理学会
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
Tel(03)3518-8370(会員サービス部門) E-mail:mem@ipsj.or.jp

■ 各種問合せ先 ■

一般社団法人 情報処理学会 (本部) ※ 支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担当	E-mail	Tel (ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会, 会費, 変更連絡, 退会, 在会証明, 会員証, 会費等口座振替, 海外からの送金
■ 会誌編集部			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容, 広告掲載, 転載許可, 出版, 著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌 (ジャーナル) の編集・査読
調査研究/教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録, 研究発表会, シンポジウム, 研究グループ, 論文誌 (トランザクション)
■ 事業部門			
事 業/国 際	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会, FIT, 連続セミナー, プログラミング・シンポジウム, 国際会議, IFIP 委員会
■ 管理部門			
総 務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会, 支部, 役員選挙, 名誉会員
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納, 送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画, 電子化委員会, 電子図書館, IPSJ メールニュース
図 書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp		標準化フォーラム 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/

CONTENTS

Preface

- How to Swim in the Sea of Informations
Yukiko MOTOMURA (The Mainichi Newspapers)
- 762 Information Technology as a Driver of Reconstruction and Regrowth in Japan
Kazuo FURUKAWA (Hitachi, Ltd.)
- 765 A Report from Earthquake Affected Area : Towards Recovery from Disasters -50 Days after the Great Earthquake
Norio SHIRATORI (Tohoku Univ. / Future Univ. Hakodate)
- 768 Message after the 3.11 Disaster

Special Features

- The End of Analogue Television Broadcasts*
- 774 0. Foreword
Osamu YAMADA (Waseda Univ.) and Toru HASEGAWA (KDDI R&D Labs., Inc.)
- 777 1. From Hi-Vision to Digital Hi-Vision
Mitsutoshi HATORI
- 786 2. The Approach to Digital Terrestrial Television Broadcasting
Eiichi TSUJI (Japan Broadcasting Corp.)
- 792 3. The Research and Development of Terrestrial Digital Broadcasting and its International Penetration Activities
Osamu YAMADA (Waseda Univ.)
- 800 4. ISDB-Tmm Technologies and Services
Akira YAMADA, Hosei MATSUOKA, Junichiro HAGIWARA and Ryo KITAHARA (NTT DOCOMO, INC.)
- 805 5. Mobile Multimedia Broadcasting in VHF Band
Toru KURODA (NHK Science and Technology Research Labs.)
- 811 6. New ITS Applications using 700MHz Band
Tomoyuki YASHIRO (Chiba Institute of Technology)
- 819 7. How will Digital Television be Changed? - Evolution of Television by Communication Functions -
Hisakazu KATOH (NHK Science and Technology Research Labs.)
- 825 8. Technology and Service Trends of Digital Cable Television
Satoshi MIYAJI (KDDI Corp.)
- 833 9. IPTV Service as a Novel Media
Jay KISHIGAMI (NTT Cyber Solutions Labs.)

Articles

- 840 Watson : A Question-answering System for a TV Quiz Challenge
Hiroshi KANAYAMA and Kohichi TAKEDA (IBM Japan, Ltd.)
- 858 Soon-to-be-avaialbe C++0x
Akira TAKAHASHI (LongGate Co., Ltd.)

Senior Column : Messages on Favorite IT

- 773 Writing Tools for Japanese Documents - Past and Present -
Kazuo USHIJIMA

Information Resources : Trails of RoboCup - Chart toward 2050 -

- 850 Humanoid League
Masaki OGINO (Osaka Univ.)

"Peta-gogy" for Future

- 863 Column : May We Collaborate?
Yasushi KUNO (Univ. of Tsukuba)
- 864 The Class of Informatics Pedagogy in a Private and Local University with the Majority of Arts Sciences
Ben Tsutom WADA (Nagano Univ.)
- 868 The Making Story of High School Teacher of "Information Study"
Ritsuko NISHIBATA (Kio Univ.)

Column : "I" Report

- 874 IEICE SIG-WI2 Conference Report
Yoshinori HUIKATA (Osaka Univ.)
- 879 NII Shonan Meeting on "Graph Algorithm and Combinatorial Optimization"
Naoyuki KAMIYAMA (Chuo Univ.) and Naonori KAKIMURA (The Univ. of Tokyo)

協力協定学会との正会員会費相互割引について

各学協会との協定により、正会員会費が割引になります。ぜひ、ご活用ください。
 本会 Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/06mem/kaiin/kyoryoku.html>) にも掲載しております。

●協力協定学会名・相互割引率 (正会員会費が割引対象)

IEEE	(The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.)	10%
IEEE-CS	(IEEE Computer Society)	10%
ACM	(Association for Computing Machinery)	20%
CSI	(Computer Society of India)	20%
ASTI	(Association Francaise des Sciences et Technologies de l' Information)	10%

※協力協定学会の会員費割引については、海外関連団体 (<http://www.ipsj.or.jp/03somu/kanrenlink/kanrendantai/kanren/kaigaikanren.html>) をご参照いただき、直接お問い合わせください。

●本会への申請方法

会費割引を希望する正会員は、次のフォームから申請してください。8月以降の申請は次年度会費を割引します。
 正会員会費割引申請フォーム (<https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/mem/m-seikaiin-kaihiwaribiki.html>)
 初めて申請する方は上記協力協定各学会正会員の会員証コピーを Fax 等で送ってください。割引適用は1学会分といたします。
 ※これから入会を希望する方も同様に申請できます。入会申込書 (正会員) (https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/mem/m-nyukai_sei.html) をご確認ください。

■照会先：会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel(03)3518-8370 Fax(03)3518-8375

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、3月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、巻頭コラム「情報処理への想い」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■巻頭言は、情報学以外の領域において、一般的に著名であると思われる人の手によるものである。学術雑誌に相応しい内容になっているかどうか、再検討する必要があると思われる。むしろ、外国人研究者の日本の情報学への期待などを紹介（当然のことながら英文）することの方が、伝統ある情報処理学会の会誌に相応しいと思う。（水野光朗）

特集「リンクするデータ（Linked Data）～広がり始めたデータのクラウド～」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■興味深く読ませていただきました。Linked Dataの認知が進み、方々のデータがリンクされて新しい価値を創造するようになれば面白いと思いました。（岩瀬雄祐）

■ Linked Data は、今後ますます増大するデータに関するテーマであり、大変興味を持った。（匿名希望）

■パソコンなどの用途も考えると、日本では一般的な人々のデータに対する重要性の理解が少ないのではないかと感じてしまう。また、かつては企業活動なども横並びで、一見して違いが分からないのが良いとされた時代の影響がいまだに公開データに残っているような気がする。（匿名希望）

■「Linked Data」という言葉は実は初耳でしたが、今回の特集でその仕組み、重要性、応用分野等がかなり理解できました。（匿名希望）

■ Linked Data について詳しいことは分かりませんが、読後の印象として米国以外の英国のあり方を感じ

ました。また取り組みは分野によっても違いがあることも分かりました。技術的な内容だけでなく、社会的な背景や規制との関係が分かるとより理解が深まるのかなと思いました。（匿名希望）

■リンクするデータの特集は非常に面白かった。インターネット上のデータをリンクして信頼性も向上するオープンサイトが構築されている事実は、今後の影響度を考えると重要な技術動向であった。

（石澤隆範）

解説「マルチコア時代のプログラミング言語『X10』」につきましては、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■参考になりました。マルチコア CPU や GPGPU の恩恵を日々受けるところですが、プログラミングにとっても苦労した覚えがあります。言語やライブラリ、ツールなどがさらに充実し、マルチコアを活用できるプログラミングのハードルが下がっていくとよいと思いました。（岩瀬雄祐）

■プログラミング言語の解説書のようなだった。

（匿名希望）

連載「プログラミング、何をどう教えているか」につきましては、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■同連載で初めて企業側の意見があった。現在の教育の問題点を指摘しており、連載の最初にこれがあるの教育側の意見としてもよいと思った。今後教育側がどのように反論するかが楽しみである。

（匿名希望）

■参考になることが多く、興味を持って読むことができました。（匿名希望）

■今月号にあるような、企業の教育現場からの報告などの内容をもっと増やすべきだと思う。学生に企業現場を教えることのできない大学教員が多いことが、内定氷河期や就職のミスマッチの一因にもなっているのではないかと考えている。（松田昭信）

■非常に良い内容だった。まさしく“現場”であるところの問題点、そして工夫がよく分かる内容。今後も継続的に“現場”の問題点に触れるような連載を続けてほしい。（匿名希望）

■とても興味深く読むことができた。とりわけ、新入社員の問題点とその克服に向けた取り組みは、大学教育に携わる立場から見ると、教育改善の参考になるものだった。(匿名希望)

■納得できる点が多かった。(匿名希望)

■プログラミングの話題から少し逸れた感もあったが、企業からの寄稿であり、教育現場に身を置く者として、大変参考になった。今後の同特集に大いに期待している。(小島俊輔)

■教育に携わる者として、まったくその通りだと思った。インターネットで探して、そのまま覚えればよいと思っている学生が多い(入試のカンニングのように)。それは情報の分野だけではなく、あらゆる分野に共通していると思う。この記事のように、どのように対処すべきかという議論が深まればよいと思う。(匿名希望)

■「フローチャートを描かせる教育」を提唱しておられましたが、昨今の情報系のカリキュラムではフローチャート作成があまり取り上げられていないのかと驚きました。プログラム作成時の思考を可視化するために、基礎に立ち返りフローチャートを作成

することは非常に有用だという考えには大いに賛同いたします。(匿名希望)

連載「古機巡礼 / 二進伝心：情報処理技術遺産「微分解析機」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■記事内で取り上げられていた微分解析機は、構成や造形から動いているところを実際に目にしてみたかったと思わずにはいられません。同時に、諸先輩方が研究を遂行する上でのご苦勞が忍ばれました。(匿名希望)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■初学者向けの理論、具体例を書いた簡単な記事もあってもよいのではないのでしょうか。(匿名希望)

■幅広く動向が把握できるようにするとともに、特集においては、内容を掘り下げただけのとうれしいです。(匿名希望)

(本欄担当 尾崎亮太, 海老澤竜 / 書評・ニュース分野)

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」<URL:<http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html>>に掲載していますので、そちらもご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/michishirube/michishirube.html>> で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html>>

応募先 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
情報処理学会 会誌編集部門
E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8375
<https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enquete.html>

ご意見をお寄せ
ください!!



IPJS カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「ディメンダブルなシステムの構築・運用・管理技術」 特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/12-H.html	6月20日(月)		
	論文誌「インタラクションの理解および基盤・応用技術」 特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/12-N.html	6月20日(月)		
	論文誌「パズルの数理」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/12-R.html	8月31日(水)		
	論文誌「知能情報技術の新しい応用と基礎」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/12-P.html	9月9日(金)		
	論文誌「社会を元気にするICT」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/12-T.html	10月10日(月)		
6月14日(火)～	第84回プログラミング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/PRO84.html	4月22日(金)	当日のみ	サン・リフレ函館
6月15日(水)～	第1回コンシューマ・デバイス&システム研究発表会 (5/19-20からの変更) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/CDS1.html	4月15日(金)	当日のみ	同志社大学東京 オフィス
6月23日(木)～	第25回バイオ情報学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/BIO25.html	4月14日(木)	当日のみ	琉球大学50周年記念館
6月24日(金)～	第45回高度交通システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/ITS45.html	4月28日(木)	当日のみ	大阪大学 吹田キャンパス
6月27日(月)	第143回グラフィクスとCAD研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/CG143.html	5月2日(月)	当日のみ	くにびきメッセ-島根 県立産業交流会館- 神戸国際会議場
6月29日(水)～	The 10th International Symposium on Autonomous Decentralized Systems (ISADS2011) http://www.isads2011.info.hiroshima-cu.ac.jp/			
7月1日(金)	東海支部主催講演会「ロボットによる新しい情報メディアの創成」 http://www.ipsj-tokai.jp/		参加無料、会員以 外の方も参加可能	豊橋技術科学大学
7月1日(金)	第26回ゲーム情報学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/GI26.html	4月27日(水)	当日のみ	松江オープンソース ラボ(島根)
7月2日(土)～	第149回システムLSI設計技術・第22回組込みシステム 合同研究発表会(ETNET2011再募集+新規募集) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/SLDM149EMB22.html	5月19日(木)	当日のみ	宮古島マリン ターミナル
7月6日(水)～	マルチメディア、分散、協調とモバイル(DICOMO2011) シンポジウム http://www.dicom.org/2011/cfp.html	3月9日(水)		天橋立宮津ロイヤル ホテル(会場が変更にな りました)
7月11日(月)～	第54回コンピュータセキュリティ・第1回情報セキュリティ心理学と 7月13日(水) トラスト合同研究発表会 http://www.iwsec.org/csec/	5月10日(火)	当日のみ	静岡大学浜松キャンパ ス内 佐鳴会館
7月14日(木)～	第31回ユビキタスコンピューティングシステム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/UBI31.html	5月20日(金)	当日のみ	九州大学西新プラザ
7月15日(金)～	第202回自然言語処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/NL202.html	5月30日(月)	当日のみ	山形大学 米沢キャンパス
7月15日(金)	第14回インターネットと運用技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/IOT14.html	5月27日(金)	当日のみ	岡山大学津島キャンパス 創立五十周年記念館
7月18日(月)	第84回数理モデル化と問題解決研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/MPS84.html		当日のみ	Las Vegas
7月18日(月)～	The 2011 Symposium on Applications and the Internet (SAINT2011) http://saintconference.org/			Munich, Germany
7月20日(水)～	第14回画像の認識・理解シンポジウム(MIRU2011) http://cvim.ipsj.or.jp/miru2011/	5月25日(水)	当日可	金沢市文化ホール
7月21日(木)～	第173回ソフトウェア工学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/SEI73.html	6月6日(月)	当日のみ	岡山国際交流センター
7月21日(木)～	第87回音声言語情報処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/SLP87.html	5月18日(水)	当日のみ	札幌 定山溪温泉 定山 溪グランドホテル瑞苑
7月23日(土)	第91回人文科学とコンピュータ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/CH91.html	5月30日(月)	当日のみ	大阪電気通信大学 寝屋川キャンパス
8月2日(火)～	第152回データベースシステム・第103回情報基礎とアクセス技術 8月3日(水) 合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/DBS152IFAT103.html	6月6日(月)	当日のみ	立命館大学 朱雀キャンパス
8月18日(木)～	情報教育シンポジウム2011(SSS2011) http://ce.eplang.jp/index.php?SSS2011	5月23日(月)	当日可	岡山いこいの村
8月25日(火)～	平成23年度電気関係学会東北支部連合大会 http://www.ecei.tohoku.ac.jp/tsjc/	6月24日(金)		東北学院大学多賀城 キャンパス
8月30日(火)	第21回エンタテイメントコンピューティング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/EC21.html	7月1日(金)	当日のみ	北海道大学
8月31日(水)～	DAシンポジウム2011-システムLSI設計技術とDA- 9月1日(木) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/S-DA2011.html	5月6日(金)		ホテル下呂温泉水明館
9月7日(水)～	FIT2011 第10回情報科学技術フォーラム http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2011/index.html			函館大学・函館短期大学
9月9日(金)～	ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム2011 (SES2011) 9月12日(月) http://ytx.ws.hosei.ac.jp/SES2011/	5月10日(火)		東京女子大学

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
9月22日(木)	平成23年度情報処理学会関西支部支部大会 http://www.ipsj.or.jp/sibu/kansai/ipsj-kansai/sibutaikai_23/	6月24日(金)		大阪大学 中之島センター
9月26日(月)～ 9月27日(火)	平成23年度電気関係学会東海支部連合大会 http://www.ipsj-tokai.jp/rengo2011/	7月15日(金)		三重大学
9月26日(月)～ 9月27日(火)	平成23年度(第64回)電気関係学会九州支部連合大会 http://www.jceee-kyushu.jp/	7月19日(火)		佐賀大学 本庄キャンパス
10月19日(水)～ 10月21日(金)	組込みシステムシンポジウム(ESS2011) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/S-ESS2011.html	6月16日(木)		国立オリンピック記念 青少年総合センター
11月8日(火)～ 11月10日(木)	The Sixth International Workshop on Security (IWSEC2011) http://www.iwsec.org/			東京大学生産技術研究所 コンベンションホール
2012年				
	東海支部学生研究発表会助成 http://www.ipsj-tokai.jp/	2月28日(火)		
3月6日(火)～ 3月8日(木)	情報処理学会 第74回全国大会 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/74kai/index.html			名古屋工業大学
11月11日(日)～ 11月15日(木)	ICPR2012 第21回パターン認識国際会議 http://www.icpr2012.org/			つくば国際会議場



Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 5月17日 ユニバーサルデザイン協創フォーラム「Barcode-Talker for らくらくホン」アクセシブルデザイン賞 受賞
- 5月17日 「パズルの数理」特集の論文募集
- 5月15日 人材募集情報(6月)更新しました
- 5月10日 2011年度定時総会のご案内
- 4月28日 34学会(44万会員)会長声明「日本は科学の歩みを止めない～学会は学生・若手と共に希望ある日本の未来を築く～」
- 4月18日 「コンピュータ博物館」を更新しました

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名, 申込者氏名, 勤務先, 職名, 住所, 電話番号および請求書宛先, Web掲載の有無などを記載し, 掲載希望原稿(「募集職種, 募集人員, (所属), 専門分野, (担当科目), 応募資格, 着任時期, 提出書類, 応募締切, 送付先, 照会先」)を添えて下記の申込先へ E-mail, Fax または郵送にてお申し込みください。
*都合により編集させていただく場合がありますので, ご了承ください。

申込期限: 毎月 15 日を締切日とし翌月号 (15 日発行) に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関, 国公立研究機関 21,000 円 (税込)
賛助会員 (企業) 31,500 円 ()
賛助会員以外の企業 52,500 円 ()
*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り, 追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。

申込先: 情報処理学会 会誌編集部門 (有料会告係) E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375
*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■大阪産業大学デザイン工学部情報システム学科 (設置予定)

募集人員 契約助手 2名
 応募資格 1)教育・研究, 学生指導に熱意のある健康な方, 2)情報システム分野全般の教育研究を担当できる方, 3)学士以上の学位を有する方, およびこれと同等の能力を有する方, 4)担当予定科目は情報システム分野の実験演習科目, およびフィールドプラクティス等
 着任時期 2012年4月1日
 提出書類 1)履歴書^{*}, 2)業績リスト^{*}, 3)教育経験および実務経験の概要^{*}, 4)主要論文別刷 (3編以内, コピー可), 5)本学着任後の教育研究に対する抱負 (1000字以内), 6)応募者本人の連絡先 (郵便宛先と E-mail アドレス), 7)推薦書 1通, 8)最終学位を証明する証書
 *大学の Web ページからテンプレートをダウンロードして作成ください (<http://www.ise.osaka-sandai.ac.jp/koubo/>)
 応募締切 2011年6月30日 (必着)
 送付先/照会先 〒574-8530 大阪府大東市中垣内3-1-1 大阪産業大学工学部情報システム工学科 主任 近江和生
 「情報システム学科 教員応募」と朱書き簡易書留
 E-mail:office@ise.osaka-sandai.ac.jp Tel(072)875-3001 (大代表) Fax(072)870-1401 (学科事務室)
 その他 1)個人情報保護のため, 応募書類に記載された個人情報には選考および採用以外の目的には使用いたしません, 2)応募の秘密は厳守いたします, 3)応募書類は返却いたしません
【雇用形態 (勤務形態)】任期1年 (再任可)の教育系契約職員
【選考方法】書類審査を通過した方に対して, 面接による審査を行います (宿泊・交通費などは, 自己負担をお願いします)
 詳細は Web ページ (<http://www.ise.osaka-sandai.ac.jp/>) をご覧ください

■熊本高等専門学校熊本キャンパス情報通信エレクトロニクス工学科

募集人員 助教 1名
 専門分野 情報セキュリティ, ネットワーク, マルチメディア, 人工知能の分野において研究および学生の指導ができ, ものづくり教育に熱心な方
 担当科目 情報処理およびコンピュータ工学に関する科目 (情報基礎工学, プログラミングなど), 実験科目, 卒業研究
 応募資格 (1)採用時経験年数 (研究および教育歴)として5~6年程度 (大学院修士課程の研究歴を含む)の研究・教育経験または実務経験があることが望ましい, (2)博士の学位 (取得見込みを含む), または技術士の資格を有し, 上記の研究分野において十分な研究意欲と実績があること, (3)高専の教育 (学生指導・クラブ指導・寮生指導を含む), 研究に理解と熱意を持ち, かつそれらが実践可能なこと, (4)日本語によるコミュニケーションが可能なこと, (5)TA (ティーチングアシスタント)・社内講師等の教育経験または企業経験や, 担当科目分野での実務経験または産学連携を含む学術研究に実績があることが望ましい
 着任時期 2011年10月1日
 提出書類 (1)履歴書 (本校所定の用紙^{*}に本人自筆, E-mail アドレスも記入), (2)研究業績リスト (Web ページ掲載記入例に従って作成ください), (3)主要論文別刷 (3編程度, コピー可), (4)高専における教育・学生指導に関する抱負 (A4用紙1枚, 1000字程度), (5)研究概要と今後の研究展開の抱負 (A4用紙1枚, 1000字程度), (6)推薦書 1通 (推薦書がない場合は, 応募者に関しての意見を求めることができる方の氏名・所属・連絡先および応募者との関係を記す)
 *履歴書用紙は本校 Web ページから取得ください (<http://www.kumamoto-nct.ac.jp/>)
 応募締切 2011年6月30日 (必着)
 送付先 〒861-1102 熊本県合志市須屋 2659-2 熊本高等専門学校総務課 (熊本キャンパス) 労務担当 Tel(096)242-6015 (直)
 「情報通信エレクトロニクス工学科教員公募」と朱書き簡易書留
 *応募書類は本公募の選考目的のみに使用します。原則として応募書類等は返却いたしません
 照会先 電子工学科長 伊山義忠 E-mail:yyiyama@kumamoto-nct.ac.jp Tel(096)242-6073 (直)
 その他 書類審査合格者については, 面接および模擬授業 (必要に応じ, 専門分野のプレゼンテーション等)を実施します (2011年7月下旬~8月中旬)。面接等に伴う旅費等は自己負担となります

■慶應義塾大学理工学部情報工学科／大学院理工学研究科開放環境科学専攻（コンピュータサイエンス分野）

募集人員 専任講師または准教授 1名
 専門分野 コンピュータサイエンス分野に軸足を置き、先進的なネットワーク技術に基づく実用的なアプリケーション構築を指向した研究
 応募資格 (a)博士の学位を有する方、(b)最近の研究業績が顕著である方、(c)専門分野について、理論と実践に渡って研究・教育できる方、(d)独立して研究室を運営でき、熱意を持って博士課程の学生の指導を行う方
 着任時期 2012年4月1日
 提出書類 (a)履歴書（市販のもので可）、(b)業績書（著書、原著論文、国際会議、国内口頭発表、特許、その他自己アピールできる顕著な業績を分けて記すこと。なお、論文の被引用数（自己引用を除く）、採録された論文誌・会議の採録率やインパクトファクタなど参考になる情報が記載されていることが望ましい）、(c)推薦書2通（様式自由）、(d)これまでの研究概要（2000字程度、様式自由）、(e)将来の研究と教育の抱負（2000字程度、様式自由）
 応募締切 2011年8月26日（必着）
 送付先／照会先 〒223-8522 神奈川県横浜市港北区日吉3-14-1 慶應義塾大学理工学部情報工学科 主任 岡田謙一
 「教員応募書類在中」と朱書き書留 E-mail:okada@z2.keio.jp Tel(045)566-1746 Fax(045)566-1747 *応募書類は返却しません
 その他 詳細はWebページ (<http://www.st.keio.ac.jp/corporations/recruit/l8.html>)をご覧ください

■青山学院大学理工学部情報テクノロジー学科

募集人員 教授または准教授 1名
 所属 理工学部情報テクノロジー学科（相模原キャンパス内）
 専門分野 情報通信、ネットワーク、計算機システム、ネットワークコンピューティング、モバイルコンピューティング
 担当科目 計算機概論、情報ネットワークなどの講義科目および、システム構築実習、プログラミング実習などの実験実習科目
 応募資格 博士の学位を有し、大学院・学部の学生に対する教育・研究指導に十分な能力と熱意のある方。専門分野について優れた業績を有すること。キリスト教について十分な理解があること。相模原キャンパスが勤務地ですが青山キャンパスの授業も担当可能な方
 着任時期 2012年4月1日
 提出書類 (1)履歴書（市販用紙使用、連絡先にE-mailアドレスを含めること）、(2)研究業績リスト（著書、学会誌掲載の査読のある研究論文、学会誌掲載の解説論文、国際会議論文、口頭発表に伴う学会論文集掲載論文などに分類のこと、また外部資金獲得状況も含むこと）、(3)主要論文別刷（5編以内、コピー可）、(4)これまでの研究の概要（A4用紙2枚程度）、(5)今後の研究計画（A4用紙2枚程度）、(6)教育に対する抱負（A4用紙2枚程度）、(7)本人に関する所見を伺える方2名の氏名および連絡先
 応募締切 2011年8月31日（必着）
 送付先／照会先 〒252-5258 神奈川県相模原市中央区淵野辺5-10-1 青山学院大学理工学部情報テクノロジー学科 主任 原田 実
 「情報テクノロジー学科教員応募書類在中」と朱書き簡易書留
 E-mail:harada@it.aoyama.ac.jp Tel(042)759-6321 Fax(042)759-6495 *応募書類は返却いたしません
 その他 書類選考の結果により面接（9月17～19日などを予定）を実施します。面接へ進まれる方への連絡はE-mailで行います。公募されるポストは常勤で教授の場合定年は68歳です。なお、本公募は、男女共同参画社会基本法の趣旨に則り女性あるいは外国人の研究者による応募を歓迎します。また、研究室には助教または助手1名が所属します。研究室の広さは約168m²で、その内の1室の天井には化学ベンチを設置することを想定して排気ダクトが設けられています

■神奈川大学理学部数理・物理学科（2012年度新設予定）

募集人員 准教授または助教 1名
 専門分野 応用確率論（数学、数理科学、オペレーションズ・リサーチ、数理情報）
 担当科目 解析（微積分）、線形代数、確率論、数理系科目、他
 応募資格 博士の学位を有し大学院教育も担当できる方
 着任時期 2012年4月1日
 応募締切 2011年8月31日（消印有効）
 送付先 〒259-1293 神奈川県平塚市土屋2946 神奈川大学 理学部長室 理学部長 齊藤光實
 「数理・物理学科教員応募書類」と明記し書留
 照会先 理学部情報科学科 教授 紀一誠 E-mail:kino@info.kanagawa-u.ac.jp
 その他 提出書類その他詳細は神奈川大学Webページ (<http://www.kanagawa-u.ac.jp/employment/professor/fulltime/>)をご覧ください

■神奈川大学理学部情報科学科

- 募集人員 教授、准教授、助教のいずれか 1名
 専門分野 情報システム開発技術、ネットワーク応用技術、基本ソフトウェアのいずれか
 担当科目 ソフトウェアデザイン(要求定義、設計、テストなど)、オペレーティングシステム、プログラミング関係の演習、実験科目など
 応募資格 博士の学位を有し、卒業研究ならびに大学院教育も担当できる方
 着任時期 2012年4月1日(予定)
 提出書類 (1)履歴書1部(本学Webページ(下記)よりダウンロードしてください)、(2)教育研究業績書1部(著書、査読付き論文、国際学会発表(査読あり、査読なし)、その他(研究会、大会、他)に分類して記述してください)、(3)主要論文別刷(5編、コピー可)、(4)今までの教育・研究の概要と、教育・研究に対する抱負(3000字以内)
 *提出書類リストを添付してください。外国籍の方は「外国人登録証明書の写し」を添付してください。選考の過程で健康診断書の提出を求められることがあります
 応募締切 2011年9月30日(消印有効)
 送付先 〒259-1293 神奈川県平塚市土屋2946 神奈川大学湘南ひらつかキャンパス 理学部長室 理学部長 齊藤光實
 「情報科学科・ソフトウェア関連」教員応募書類」と明記し書留
 照会先 情報科学科主任 後藤智範 E-mail:gotout01@kanagawa-u.ac.jp Tel(0463)59-4111(ext.2702)
 *原則として応募書類は返却いたしません。返却を希望される方はその旨を明記してください
 その他 詳細はWebページ(<http://www.kanagawa-u.ac.jp/employment/professor/fulltime/>)の理学部情報科学科「情報システム開発技術、ネットワーク応用技術、基本ソフトウェアのいずれかの分野」専任教員公募をご覧ください

■法政大学情報科学部コンピュータ科学科

- 募集人員 教授または准教授 いずれか1名
 専門分野 情報科学、情報工学
 担当科目 データベース、セキュリティ、情報検索、組込みシステム、ハードウェア実験など
 応募資格 博士の学位を有し、専門分野での研究業績があり、学部・大学院の教育と研究を担当できる方
 着任時期 2012年4月1日
 提出書類 (1)履歴書(学歴、職歴、学会および社会における活動等)、(2)研究業績リスト(学術論文(査読付き専門誌論文、国際会議論文)、著書・総説・解説・研究報告、学位論文、特許、受賞歴、研究助成などの取得実績)、(3)主要論文別刷(3編、コピー可)、(4)これまでの研究概要(A4用紙1000字程度)、(5)着任後の教育・研究に関する抱負(A4用紙1000字程度)、(6)応募者の研究業績や人物を熟知しており照会が可能な方2名の名前とその連絡先
 応募締切 2011年9月30日(必着)
 送付先/照会先 〒184-8584 東京都小金井市梶野町3-7-2 法政大学情報科学部 学部長 花泉 弘
 E-mail:hana@hosei.ac.jp Tel(042)387-4558 「教員応募書類」と朱書き書留
 その他 詳細はWebページ(<http://www.hosei.ac.jp/saiyo/index.html>)をご覧ください



FIT2011 第10回情報科学技術フォーラム

聴講参加・懇親会参加並びに講演論文集 事前予約申込の御案内

FIT2011Web サイト：<http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2011/>

情報処理学会と電子情報通信学会（情報・システムソサイエティ、ヒューマンコミュニケーショングループ）とは2002年から合同で毎年秋季にFIT (Forum on Information Technology) を開催しており、2011年9月には第10回目を函館大学・函館短期大学で開催致します。

つきましては、聴講参加、懇親会参加並びに講演論文集、DVD-ROMの事前予約申込の御案内を致します。皆様、奮ってお申込み下さい。

聴講参加費は、当日参加よりも事前予約の方がお得になっております。また、講演論文集、DVD-ROMは、FIT開催中にも会場販売を行います。残部のある限りということになりますので、確実に御入手頂くには期限内のお申込みをお勧め致します。

会 期：2011年9月7日（水）～9日（金）

会 場：函館大学・函館短期大学（北海道函館市高丘町51-1）

交 通：◎函館空港から⇒会場

- ・函館空港―[タクシー]―函館大学 約10分 1,200円程度
- ・函館空港―[函館バス]―湯倉神社前「下車乗継」湯倉神社前―[函館バス]―函館大学前 約30分 270円

◎函館空港から⇒宿泊エリア

- ・飛行機のダイヤにあわせてシャトルバス運行 約20分 400円

◎宿泊エリアから⇒会場

- ・函館駅前―[市電]―湯の川「下車乗継」湯倉神社前―[函館バス]―函館大学前 約50分 280円
- ・函館駅前―[函館バス]―函館大学前 約40分 260円
- ・函館駅―[タクシー]―函館大学 約30分 2,000円程度
- ・五稜郭公園前―[市電]―湯の川「下車乗継」湯倉神社前―[函館バス]―函館大学前 約40分 240円
- ・五稜郭―[函館バス]―函館大学前 約25分 250円
- ・五稜郭―[タクシー]―函館大学 約20分 1,800円程度
- ・湯の川温泉街―[徒歩]―湯倉神社前―[函館バス]―函館大学前 約20分 200円
- ・湯の川温泉街―[タクシー]―函館大学 約10分 900円程度

※お車（自家用車）での御来場は御遠慮下さい。

■開催イベント企画 [予定]

今回のFITでは以下の講演会、パネル討論等のイベント開催を予定しております。（詳細は逐次FIT2011Webサイトに掲載致します）

◎FIT創設10周年記念特別講演

- 7日 13:00-14:15 第1イベント会場（函館大学 2F 262 大講義室）
「粘菌の行動知 ～原始生命システムの自律分散情報処理～」
中垣 俊之（公立はこだて未来大学 教授）

◎船井業績賞受賞記念講演

- 8日 14:00-15:15 第1イベント会場（函館大学 2F 262 大講義室）
「人との共存を目指すヒューマノイドロボットの開発
～優しく頼もしいパートナーを目指して～」
広瀬 真人（本田技術研究所基礎技術研究センター 主席研究員）

◎FIT学術賞表彰式

- 8日 13:00-13:50 第1イベント会場（函館大学 2F 262 大講義室）

◎イベント企画

- 第1イベント会場（函館大学 2F 262 大講義室）
7日 9:30-12:00 やさしく分かる機械学習の最新線～データから意味を読み取る～
7日 14:30-17:30 地域医療と異文化コラボレーション
8日 9:30-12:00 サイバーテロの実情と対策
～身近になりつつあるサイバーテロの脅威～
8日 15:30-17:30 学習環境のクラウド化とパーソナル化
9日 9:30-12:00 クラウド時代における知的社会基盤のサステナビリティを考える
9日 13:00-16:00 そこそそセキュリティ
～必要なレベルで適切なセキュリティ対策を提供するには～

第2イベント会場（函館大学 3F 301 講義室）

- 7日 9:30-12:00 気になる最近の計算幾何学の話題から
- 7日 14:30-17:30 第15回パターン認識・メディア理解アルゴリズムコンテスト
- 8日 9:30-12:00 サイバーフィジカル情報革命～情報爆発から価値創造へ～
- 8日 15:30-17:30 EMMが目指すマルチメディア情報処理の未来
- 9日 9:30-12:00 実践が拓く情報処理の次なるステップ
～デジタルプラクティスの試み～
- 9日 13:00-16:00 サイバーワールドとリアルワールドとの接点
～農業・漁業とサイバーワールド～

■聴講参加費（税込）

参加区分	事前予約(7/15まで)	当日
正会員	8,000円	10,000円
一般非会員	17,000円	20,000円
学生	無料	無料

※正会員、一般非会員の聴講参加費にはプログラム・参加章・DVD-ROMが含まれております。

※正会員、一般非会員、学生の参加区分の区別は以下の通りです。

正会員：情報処理学会、電子情報通信学会、電気学会、照明学会、映像情報メディア学会及び電子情報通信学会と協定を締結した海外の学会（IEEK、KICS、KIISE、IEEE/Com. Soc.、IEEE/PHO、IEEE/MTT-S、IEEE/CS）または情報処理学会と協定を締結した海外の学会（ACM、IEEE、IEEE/CS、KIISE、CSI）の個人会員に限ります。

一般非会員：上記の学会会員以外の方。

学 生：会員/非会員を問わず無料（DVD-ROMは付きません）。

社会人学生の方も、学生証を総受付で呈示頂ければ無料です。

■懇親会 [予定]

開催日時：9月8日（木）19:00～21:00

会 場：金森赤レンガ倉庫「金森ホール」

参加費（税込）：社会人 5,000円、学生 2,000円

※FIT2011会場の函館大学から懇親会会場までは送迎バスで移動を頂く予定でございますので、懇親会への参加をご希望の方は事前予約お願い致します。

■冊子講演論文集・DVD-ROM販売価格（税込）

申込種別	個人購入価格	法人購入価格
講演論文集セット	57,000円	57,000円
講演論文集分冊	12,000円/冊	15,000円/冊
講演論文集DVD-ROM	8,000円	55,000円

※セットは冊子講演論文集、DVD-ROM、カバー付き

※分冊は第1～4分冊の予定

※DVD-ROMはプログラム（講演者索引付き）及び全分冊収録

※学生の方は、会場にてDVD-ROM学割会場販売価格4,000円

※講演論文集の掲載分野（予定分冊構成）

第1分冊：モデル・アルゴリズム・プログラミング、ソフトウェア、ハードウェア・アーキテクチャ

第2分冊：データベース、自然言語・音声・音楽、人工知能・ゲーム、生体情報科学

第3分冊：画像認識・メディア理解、グラフィクス・画像、ヒューマンコミュニケーション&インタラクション、教育工学・福祉工学・マルチメディア応用

第4分冊：ネットワーク・セキュリティ、ユビキタス・モバイルコンピューティング、教育・人文科学、情報システム

DVD-ROM：上記全論文とプログラムを収録

（著者、所属、キーワードによる索引付き）

※FIT 査読付き論文の採択論文は各投稿分野の論文集分冊へそれぞれ収録されます。

■聴講参加事前予約・講演論文集・DVD-ROMの申込み・送金方法

申込締切：2011年7月15日（金）必着

申込方法：FIT2011Webサイトからお申込み下さい。

聴講参加事前予約者の方、懇親会事前予約者の方、講演論文集セットまたは分冊を申し込んで受取り方法を「会場で受取」にされた方には引換券をお送り致します。御来場の際は御持参頂き、総受付に御呈示下さい。

受取方法：講演論文集セットまたは分冊を御希望の場合には「会場渡し」または「FIT終了後郵送（10月上旬）」のいずれかを選択して下さい。

DVD-ROM（講演論文集セット付属のものは除く）は、すべて事前発送となります。

送金方法：申込締切後、見積・納品・請求書、郵便振替用紙、送金連絡票をお送りしますので送金をお願い致します。

※お支払いは指定の口座へお振込みでお願い致します。FIT会場での現金でのお支払いは一切お受け致しませんので予め御了承下さい。

送金期日：2011年10月31日（月）

■次年度のFIT2012開催

2012年9月 法政大学 小金井キャンパスにて開催予定

■問い合わせ（FIT2011幹事学会）

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5化学会館4F
一般社団法人 情報処理学会 事業部門
TEL. 03-3518-8373 FAX. 03-3518-8375
E-mail: jigyo@ipsj.or.jp

◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集，参加案内等）の本誌掲載については，下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

記

■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金（消費税込）	
論文募集／ 参加者募集	国際会議，シンポジウム，ワークショップ，講演会，講習会などの論文募集・参加者募集	1 ページ，1/2 ページまたは 1/4 ページ	（主催・共催）	
			1 ページ	52,500 円
			1/2 ページ	31,500 円
			1/4 ページ	21,000 円
			（協賛）	
		広告として取り扱う		
人材募集	国公立教育機関，国公立研究機関， 企業の人材募集	10 行程度	国公立教育機関，国公立研究機関	21,000 円
			賛助会員（企業）	31,500 円
			賛助会員以外の企業	52,500 円
			* 本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り，追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。	

■申込方法

任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先，Web 掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

■原稿の書き方

- 行事次第書： A4 判カメラレディまたは PDF ファイル（フォント埋め込み）とします。
（1 ページ） 天地 260mm × 左右 175mm
（1/2 ページ） 天地 130mm × 左右 175mm
（1/4 ページ） 天地 65mm × 左右 175mm
* A4 判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。

- 人材募集： 次の項目を明記し，E-mail または Fax，郵送にてお送りください。
[募集職種，募集人員，（所属），専門分野，（担当科目），応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先]
* なお，都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください。

■申込期限

毎月 15 日を締切日とし，翌月号（15 日発行）に掲載します。

■掲載料金

掲載号発行日に料金を請求いたしますので，3 カ月以内にお支払いください。

■掲載申込先

一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係）
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375

ご意見をお寄せください!

【7月10日頃までにお出しください】

宛先 一般社団法人 情報処理学会 モニタ係 (下記のいずれからも送付できます)
http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq5207.html Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)
※ ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。
http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html

[コード]

- (1) ご氏名
- (2) ご所属 Tel. () -
- (3) E-mail:
- (4) 業種: (a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (大学・高専など)
(e) 学生 (f) その他 4- []
- (5) 職種: (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教官/教員 (大学・大学院) (h) 教職員 (小・中・高校・高専など)
(i) 学生 (j) その他 5- []
- (6) 年齢: (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6- []
- (7) 性別: (a) 男性 (b) 女性 7- []
- (8) あなたはモニタですか?: (a) はい (b) いいえ 8- []
- (9) あなたの意見は「会員の広場」(会誌および Web) に掲載される場合があります。その場合:
(a) 実名可 (氏名のみ掲載) (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない 9- []
- (10) 今月号 (2011年7月号) の記事はお役に立ちましたか。下記の記事すべてについて評価をご回答ください。
[a...大変よい b...よい c...普通、どちらとも言えない d...悪い e...読んでいない]
- 巻頭コラム: 情報の海の泳ぎ方 10-1- []
- 巻頭言: 復興と再成長に向け情報処理技術が牽引を 10-2- []
- 被災記: 再生を目指して 10-3- []
- 3.11 震災後のメッセージ 第二弾 10-4- []
- IT 好き放題: 日本語文章推敲支援ツールの今 10-5- []
- 特集: アナログテレビ放送の終焉
1. ハイビジョンからデジタルハイビジョンへ 10-6- []
 2. 地上テレビジョン放送のデジタル化への取り組み 10-7- []
 3. 地上デジタル放送の研究開発と海外展開 10-8- []
 4. ISDB-Tmm 放送技術とサービス 10-9- []
 5. VHF-LOW 帯マルチメディア放送 10-10- []
 6. 700MHz 帯を使った新しい ITS アプリケーション 10-11- []
 7. デジタルテレビはどう変わるか 10-12- []
 8. デジタルケーブルテレビ関連技術およびサービス動向 10-13- []
 9. 新しいメディアとしての IPTV サービス 10-14- []
- Watson: クイズ番組に挑戦する質問応答システム 10-15- []
- ロボカップ道しるべ: ヒューマノイドリーグの歩み 10-16- []
- まもなく訪れる C++0x 10-17- []
- べた語義: コラム: お手伝いいただけますよね? 10-18- []
- べた語義: 文系主体の地方私立大学での情報科教職課程と情報科教育法 10-19- []
- べた語義: 高等学校教科「情報」教員養成の実状 10-20- []
- "I" 見聞録: Web インテリジェンスとインタラクション研究会 10-21- []
- "I" 見聞録: 第1回 NII 湘南会議: 「グラフアルゴリズムと組合せ最適化」 10-22- []
- (11) 本号で最も良かった記事は何ですか? 上記 [10] の設問の記事番号から 1 つだけ選び (例: 10-8 の記事の場合は「8」と記入)、その理由をご回答ください。
上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。
- [11-1] 良かった記事 11-1- []
- [11-2] 選んだ理由 (下記から、いくつでも選択可) 11-2- []
- a) 技術・研究動向がよく分かった
 - b) 知的興味をかきたてられた
 - c) 新たな知識を得ることができた
 - d) 内容が平易で理解しやすかった
 - e) その他 (具体的に下記にご記入ください)
- (12) 本号で最も良くなかった記事は何ですか? 上記 [10] の設問の記事番号から 1 つだけ選び (例: 10-8 の記事の場合は「8」と記入)、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。
- [12-1] 良くなかった記事 12-1- []
- [12-2] 選んだ理由 (下記から、いくつでも選択可) 12-2- []
- a) 記事の内容に誤りがあった
 - b) ありきたりの内容だった
 - c) 記事が難しすぎた
 - d) 何を言いたいのか分からなかった
 - e) 宣伝の意図が強すぎる
 - f) テーマに興味を持てなかった
 - g) その他 (下記に具体的に記入ください)
- (13) 設問 [10] で読んでいないと答えた記事について、その理由を教えてください。
- (14) 会誌に対するご意見や感想、著者への質問、今後取り上げて欲しいテーマなどありましたらご記入ください。
(スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください)

「放送と通信の融合」という言葉が使われるようになってから、少し時が経ちました。50年以上にわたって生活の一部として存在してきたテレビの姿が「多くの人と共有可能なコンテンツを受動的に取得するもの」というところから少しずつ変わろうとしているように感じます。テレビを取り巻く環境では、放送がデジタル化され、アナログ波の跡地での新サービスの検討が進む一方で、IPTVやCATVのように通信と同種の経路での放送も定着してきています。こうした一連の変化の中、アナログテレビ放送の終了のタイミングにあわせて、特集を企画しました。

今回の特集では、デジタルテレビ放送の確立までの話と新サービスの動向の両面を解説しましたが、後者については、アナログ波の跡地が開放されるこれからの本番になります。マルチメディア放送でどんなコンテンツが配信され、新しい広告ビジネスモデルがどのように構築されていくか、交通安全向け車載通信において、その普及率を上げる鍵となるアプリケーションはどんなものか、等、今後の動向から目が離せません。最後になりますが、執筆者、ゲストエディタの方々には、最もお忙しい時期にご協力いただき、まことにありがとうございました。

(宅間大介/本特集エディタ)

次号(8月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

3.11 大震災特別企画：内閣官房参与からのメッセージ 日比野靖

「特集」夏休み工作のためのフィジカルコンピューティング

フィジカルコンピューティング概論 / Gainer 入門 / Arduino 入門 / Phidgets 入門 / Aniomagic 入門 / MBED 入門 / PSoC 入門 / クックブック～Physical×wonderfl で始めるフィジカルコンピューティング / テクノ手芸～起こすと目が光るうさぎを作ろう / 「パトロニクス」へのご招待～オリジナル電子メロディを作ってみよう / ○○するあから 2010 / パーソナル・ファブリケーション序論 / コンピュータの上流と下流をつなぐ電子工作 / デジタル・ファブリケーションから始まる未来のものづくり / 私たちはほぼ何でも作れるようになる～ファブ・マスター (Fab Master) をめざして / 付録：あから 2010 ペーパーモデル

解説：製品開発へのオープンソース利用の実情— CELL レグザ開発事例を中心に— 駒木亮伯 他
 いつでも、「どこ」が正確に一準天頂衛星初号機みちびきによって変わる未来— 明神絵里花
 デジタルサイネージの最新動向 藤本仁志

報告：2010 年度論文賞の受賞論文紹介 / 2010 年度長尾真記念特別賞紹介 / 2010 年度喜安記念業績賞紹介
 道しるべ：ロボカップ道しるべ

教育コーナー：ぺた語義

コラム：“I” 見聞録 / 巻頭コラム / シニアコラム：IT 好き放題

読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約 100 名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙または Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門

〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8371

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4色	2色	1色
表2	346,500円 (税抜330,000円)	—	—
表3	288,750円 (税抜275,000円)	—	—
表4	404,250円 (税抜385,000円)	—	—
表2対向	315,000円 (税抜300,000円)	—	—
表3対向	278,250円 (税抜265,000円)	199,500円 (税抜190,000円)	162,750円 (税抜155,000円)
前付1頁	262,500円 (税抜250,000円)	173,250円 (税抜165,000円)	141,750円 (税抜135,000円)
前付1/2頁	—	—	84,000円 (税抜80,000円)
前付最終	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
目次前	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
差込 (A判70.5kg未満 1枚)	288,750円 (税抜275,000円)		
差込 (A判70.5kg～86.5kg 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		
同封 (A判 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		

■「情報処理」

発行 一般社団法人 情報処理学会
 発行部数 25,000部
 体裁 A4判
 発行日 毎当月15日
 申込締切 前月10日
 原稿締切 前月20日
 広告原稿 完全版下データ
 原稿寸法 1頁 天地260mm×左右180mm
 1/2頁 天地125mm×左右180mm
 雑誌寸法 天地297mm×左右210mm

■問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27
 アドコム・メディア(株) (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

*原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。
 *同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて(またはE-mailにて必要事項を記入の上)アドコム・メディア(株)宛にご請求ください。

■「情報処理」52巻7号 掲載広告(五十音順)

- インタフェース……………表4 講談社……………前付最終上
 オーム社……………表2対向 サイエンス社……………目次前

すべての会社を希望

■資料送付先

フリガナ
お名前 _____

勤務先 _____ 所属部署 _____

所在地 (〒 _____) _____

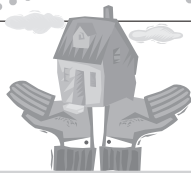
TEL (_____) _____ - _____ FAX (_____) _____

ご専門の分野 _____



お問合せ・お申込み・資料請求は
広告総代理店 アドコム・メディア(株)

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp>) 「会員サービス」のページからも各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 一般社団法人 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (20 ~ 50口)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立製作所

FUJITSU

富士通 (株)

NEC

日本電気 (株)

MITSUBISHI
Changes for the Better

三菱電機 (株)

TOSHIBA

(株) 東芝

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

●●● 賛助会員 (10 ~ 19口)

Google

グーグル (株)

NTT docomo

(株) NTT ドコモ

NTT

日本電信電話 (株)

Microsoft

日本マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3 ~ 9口)



(株) NTT データ



NTTコムウェア (株)

OKI

沖電気工業 (株)

楽天

楽天 (株)

ilovex

(株) アイロベックス

uejima

(株) うえじま企画

SONY

ソニー (株)

Panasonic
ideas for life

パナソニック (株)

Plat'Home

ぶらっとホーム (株)



研究成果を
発表するなら
どこがいいかな?

この分野で
未来の情報社会を
リードできそう。

よし!
情報処理学会に入会して
論文を投稿しよう!

詳しくは <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

会員募集!!



申込/照会先 一般社団法人 情報処理学会
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
Tel(03)3518-8370(会員サービス部門) E-mail:mem@ipsj.or.jp